

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18 23 25 37	利用者との関わりが希薄なこと。	利用者一人一人とゆっくり(時間的余裕を持ち)と会話を楽しむ時間を設ける。	職員でしかできない作業は短時間でこなし、常に利用者を交えて作業していくようにする。	6ヶ月
2	13 21 48	レクリエーション活動のマンネリ化。	毎回同じようなレクリエーションを繰り返すのではなく、様々なレクリエーションにチャレンジしていく。	レクリエーションの参考本や研修への参加により、職員がやってみたいと思うこと、かつ、利用者が実行できる思えるレクリエーションを行っていく。	12ヶ月
3	13 48	行動に対する活動のレベルが低いこと。	利用者が四季を感じるような行事活動を行っていく。	幼稚園児が行うような子供っぽい行動活動ではなく、利用者が季節を感じ楽しめる行事活動をしていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。